

平成 25 年度 第 1 回

# 八戸市地域包括支援センター運営協議会

日時：平成 25 年 7 月 17 日(水) 午後 1 時 30 分

場所：八戸市庁 本館 3 階 第三委員会室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

- (1) 平成 24 年度地域包括支援センター事業報告について
- (2) 平成 25 年度地域包括支援センター事業計画について
- (3) その他

### 3. 閉 会

(1)

平成24年度 地域包括支援センター事業報告

# 1 総合相談支援業務

## (1) 総合相談件数

	一般	困難	虐待	合計
23 年度	897 人 (897 件)	230 人 (1,504 件)	91 人 (557 件)	1,218 人 (2,958 件)
24 年度	824 人 (824 件)	338 人 (1,759 件)	100 人 (562 件)	1,262 人 (3,145 件)

※複数回対応した事例を困難事例として位置付けている。

## 平成 24 年度 相談種別内訳

種別	相談内容種別 (重複あり) (件)								相談者 (人)					
	一人暮らし	認知症	精神疾患	住環境に問題	経済的問題	サービスの必要性	介護力の低下	その他 ※1	本人	家族	民生委員	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	その他 ※2
回数	1,046	1,285	782	514	613	1,009	812	966	523	812	51	306	455	677

※1 医療受診、後見人、施設入所 等

※2 病院、施設、近隣住民 等

## (2) 訪問及びケア会議回数

	訪 問 (自宅、病院、施設等)		ケア会議	
	23 年度	24 年度	23 年度	24 年度
回数 (延べ)	482 回 (実 176 名)	528 回 (実 184 名)	179 回 (実 78 名)	108 回 (実 107 名)
対応時間	789.5h	947.2h	200.5h	114.9h

## (3) 成年後見制度相談件数

	23 年度	24 年度
相談件数	35 件	97 件
市長申し立て件数	2 件	3 件

## (4) 高齢者虐待対策ケース会議

高齢者虐待のネットワークを目指し、事例の検証や、関係する機関の連携援助、虐待防止のための市民への啓発活動等を検討する。

第 1 回	平成 24 年 7 月 4 日	①平成 23 年度の八戸市における高齢者虐待の現状報告 ②年間計画の検討と承認
第 2 回	平成 24 年 10 月 31 日	事例をもとに「早期相談の可能性」「早期介入の可能性」について意見を出し合った。

第3回	平成24年12月25日	事例をもとに「虐待の判断基準が共有されていない」「事例に関わる個人や事業所の支援方針による相談の抑制」「介護支援専門員にかかる負担の増大」について意見を出し合った。
第4回	平成25年2月20日	前回出された「虐待の判断基準が共有されていない」「事例に関わる個人や事業所の支援方針による相談の抑制」「介護支援専門員にかかる負担の増大」を解消する方法について意見を出し合った。

(5) 啓発活動

- 平成24年度八戸市高齢者虐待防止研修会開催（平成24年10月22日）
- 高齢者虐待防止出前講座（年3回）
- 高齢者虐待防止パンフレットの配布
- 成年後見制度に関するパンフレットの配布
- 八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会開催への協力（年6回）

(6) 市民後見推進事業

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な市民が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、市民後見人が適切に活動できるよう支援し、権利擁護の推進を図る。

① 八戸市市民後見推進協議会の開催

委員：弁護士、司法書士、社会福祉士、学識経験者、社会福祉協議会  
オブザーバー：青森家庭裁判所

日時	内容
8月6日(月)	成年後見制度ニーズ調査報告 市民後見人候補者の受任調整について(推薦要件)
9月24日(月)	市民後見人候補者の受任調整について(選任条件)他
2月18日(月)	市民後見人候補者の評価方法について 報酬付与について 他

② 八戸市市民後見人フォローアップ研修会

市民後見人候補者：39名

日時	内容	出席者
5月2日(火)	認知症サポーター養成講座	28人
6月18日(月)	事例検討	29人
11月20日(火)	講義「市民後見人の活動と意義について」	34人
2月5日(火)	事例検討	29人

平均出席率 77.7%

(7) 八戸市高齢者虐待の取り組み状況

○虐待相談件数

(件)

	23年度	24年度
相談件数 (新規)	70	82
虐待件数 疑い含む	57 (有り 34)	70 (有り 50)

○支援状況

(件)

	23年度	24年度
生活支援ハウス入所	2	0
福祉施設入所	3	2
入院	14	13
その他分離(引取り)	2	5
見守り・助言	36	50
計	57	70

(8) 八戸市における高齢者虐待の特徴(以下は虐待ありと判断した件数の内訳)

		23年度	24年度
虐待の分類		身体的 14件 放棄 17件 心理的 25件 経済的 13件	身体的 36件 放棄 9件 心理的 30件 経済的 14件
被虐待者	性別	女性 27人 / 34人中	女性 41人 / 54人中 ※夫婦で虐待を受けている場合は「虐待件数 1件・被虐待者 2名」としているため、件数と人数は一致しない。
	年齢	65～69歳 2人 70～74歳 4人 75～79歳 12人 80～84歳 7人 85～89歳 7人 90歳以上 2人 /34人中	65～69歳 8人 70～74歳 12人 75～79歳 17人 80～84歳 10人 85～89歳 4人 90歳以上 3人 /54人中
	介護度	自立 18人 申請中 0人 要支援 2人 要介護 14人 /34人中	自立 28人 申請中 2人 要支援 1人 要介護 23人 /54人中
	原因	認知症 16件 要介護 11件 共依存 7件 ※上位3位まで掲載。	認知症 21件 要介護 16件 共依存 7件 ※上位3位まで掲載。

		23 年度	24 年度
養護者	続柄	息子 13 人 娘 8 人 夫 6 人 ※上位 3 位まで掲載。	息子 24 人 夫 15 人 妻 6 人 ※上位 3 位まで掲載。
	養護者が抱える問題	性格の偏り 9 件 無職 7 件 病気について無理解 7 件 ※上位 3 位まで掲載 ※「無職」とは事例対応日の 1 年以上前から就業していないことを指す。	精神疾患 19 件 病気について無理解 15 件 無職 12 件 ※上位 3 位まで掲載

## (9) 高齢者生活支援サポーターの養成活用

平成 21 年度から 2 か所の在宅介護支援センターに委託して、高齢者生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支えるシステムを構築する。

## ① 養成

日時	地区	内容	出席者
11 月 6・13・20・27 日	白山台・長者	<講義・実技> ・地域包括支援センターについて	9 人
11 月 7・13・20・27 日	鮫・白銀南・南浜	・守秘義務について ・高齢者の基礎知識、擬似体験 ・コミュニケーションについて	2 人

## ② 活用

○サポーター登録者数 43 人 (H25.3 月末)

○平成 24 年度の活動人数 127 人

支援内容：介護予防教室の手伝い、灯油入れ、米研ぎ、水まわり掃除、掃除機がけ、話し相手

## 2 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### (1) 包括的支援事業研修会

在宅介護支援センター職員等が、地域包括ケアを推進するために必要な知識・技術を習得することにより、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援する。

日時	内容	講師	出席者(人)
10月11日(木)	困難事例におけるケースワーク①	八戸市委託高齢者 精神保健福祉相談員 安田 真	88
12月13日(木)	困難事例におけるケースワーク②	八戸市委託高齢者 精神保健福祉相談員 安田 真 医療法人清照会湊病院 地域医療連携課長 木村 政樹	89
1月21日(月)	地域における高齢者の精神保健とその支援について	八戸大学 教授 瀧澤 透	95
		合計	272

### (2) ケアプラン作成指導研修会

#### ①ケアプラン作成指導研修に関すること

包括的・継続的マネジメント事業を効果的に推進するため、市内の介護支援専門員のアセスメント力を向上させ、利用者の自立支援に向けたケアプランを作成する為の研修会を開催する。

日時	内容	講師	出席者(人)
7月31日(水)	ケアマネジャーの「文章と記録の上達術」	ケアタウン総合研究所 所長 高室 成幸 氏	109

#### ②地域ケアマネジメント事例学習会に関すること

市内の介護支援専門員のアセスメント力向上を目指し、事例学習会開催が地域で定着するよう支援する。

#### ○ケアマネジメント事例学習会

チーム	日時		会場	参加者(人)
A:市川、根岸、下長、上長、 豊崎	9月14日	17:00~19:00	ほっとハウス	24
	10月12日	17:00~19:00	豊寿苑	26
B: 柏崎、吹上 長者、白山台、	9月14日	17:00~19:00	りんごっこ寿楽荘	21

小中野、江陽、	11月16日	17:00~19:00	りんごっこ寿楽荘	17
C: 根城、是川、三八城、南郷	6月14日	18:15~19:45	ひばりの里	26
	10月17日	18:15~19:45	ひばりの里	21
D: 大館、東、白銀、湊、鮫、南浜	7月13日	17:00~19:00	福寿草デイサービス	33
	10月12日	17:00~19:00	福寿草デイサービス	31
合計				199

### ○報告会

日時	内容	出席者
平成25年2月6日	平成24年度 事例学習会リーダー打ち合わせ会議 ・事例学習会開催報告 ・平成25年度活動について	八戸市内居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員 13人

### (3) 地域連携意見交換会

医療と介護のより円滑な連携を促進するため、ケアマネジャー代表と9医療機関の地域連携担当職員、6精神科病院の相談員、訪問看護ステーション看護師との意見交換会を開催する。

	開催日	内容	出席数(人)
第1回	7月20日	病院医療連携室担当者と介護支援専門員との連携 ・八戸市在宅介護情報提供所の見直し ・各病院の情報交換方法の確認 他	病院 24 訪問看護師 3 ケアマネジャー10 介護保険課 1 高齢福祉課 4 計 42
第2回	11月30日	訪問看護ステーションと介護支援専門員との連携 ・訪問看護導入が困難な場合への対応について	病院 3 訪看 7 ケアマネ 10 高齢福祉課 5 計 25

### (4) 介護支援専門員個別支援に関すること

○介護支援専門員が担当している困難ケースの相談に対する支援

24年度相談件数：159件（うち新規 85件、継続 74件）



○ 相談件数の介護度別内訳（件）

介護度 なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
10	1	11	36	55	20	12	14	159

○ 相談内容（重複あり）

独居	認知	家族	経済	精神	サービス	環境	虐待	後見	その他
42	86	51	36	45	62	21	61	10	26

※その他…成年後見制度について、介護サービス・その他のサービスについて等

○ 対応（重複あり）

助言	訪問	ケース会議	その他
120	37	39	1

(5) 高齢者見守りネットワーク事業

見守りの必要な高齢者の変化に早めに気づき必要な支援を行なう為に、地域の活動を支える町内会、事業所などの関係機関によるネットワークを構築する。

①見守りネットワーク活動の普及・啓発

- ・ 民間事業所の見守り活動協力
- ・ 関係機関への見守り協力依頼 他

②高齢者見守りネットワーク連絡会

身近な町内単位で無理なく何気なく見守りや声掛けをして、緊急課題の早期発見や安否確認を行い、必要時に早期対応するシステムを作る。

設置町内：30 町内（24 年度新規立ち上げは 7 町内） 平成 25 年 3 月 31 日現在

活動内容：緊急連絡網作成、町内周知、ネットワーク新聞の回覧等

### 3 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 二次予防事業対象者把握について

22 年度途中から国の要綱が改正され、特定高齢者の名称から二次予防事業対象者（※1）へと名称が変更になり、その把握方法についても変更となる。

23 年度から 3 年間かけて、要介護認定を受けていない全高齢者を対象に、25 項目の基本チェックリストを含む調査票を郵送し、その結果から二次予防事業対象者を決定する。

※1 二次予防事業対象者：生活機能の低下があるため、要支援・要介護となるおそれのある高齢者

○二次予防事業対象者把握

	23年度	24年度
地区	湊・江陽・根城・鮫・大館・長者・豊崎 7地区	柏崎・中居林・小中野・白銀・南 浜・下長・館・市川・南郷 9地区
郵送数	14,506 人	16,135 人
有効回答数	11,983 人	12,496 人
回収率	82.6%	77.4%
二次予防事業対象者数	4,416 人(36.9%)	4,450 人(35.6%)

<二次予防事業対象者総数>

	23年度	24年度
調査票	4,416 人	4,450 人
介護保険非該当	8 人	5 人
合計	4,424 人	4,455 人

<郵送した地区ごとの二次予防事業対象者の状況> (人)

平成 24 年度

地区別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 以上	計
柏崎	131	140	159	121	68	619
中居林	80	114	83	46	27	350
小中野	107	125	174	99	67	572
白銀	128	204	226	122	81	761
南浜	25	41	53	41	21	181
下長	147	171	164	114	62	658
館	50	71	80	43	36	280
市川	144	158	215	131	50	698
南郷	50	56	83	79	63	331
計	862	1,080	1,237	796	475	4,450

(2) 通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業について

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
特定高齢者		63人	1,238人	662人	477人	563人	—	—	
二次予防事業対象者		—	—	—	—	—	4,424人	4,450人	
事業参加者	通所型	運動機能向上	11人	15人	28人	28人	48人	76人	175人
		口腔機能向上	—	1人	2人	1人	—	—	—
		栄養改善	—	—	—	—	—	—	—
		総合型介護予防	—	—	—	—	—	3人	5人
		認知症予防	—	—	—	—	—	4人	6人
	訪問型	—	—	—	—	—	—	—	
計		11人	16人	30人	29人	48人	83人	186人	

(3) 地域回想法による介護予防推進事業

懐かしい写真や生活用具を用いて自分自身が体験したことを語り合ったり、過去のことを思いめぐらす「回想法」を通じて、高齢者が自らの介護予防に取り組む必要性を理解し、地域において自発的な介護予防の活動が実践できるよう支援する。

① 地域回想法実践者研修会開催

認知症予防の手段として活用できるように、基本的知識・技術の習得を目指して、実践者の人材育成を行うとともに、介護予防という側面だけでなく、高齢者を巻き込んだ地域づくりに発展できるよう関係機関との連携を図る目的で開催。

内 容		参加者	参加者内訳
10月7日(日)	回想法の体験	77人	在宅介護支援センター職員、介護保険サービス事業所(グループホーム、デイサービス等)の職員、民生委員等
10月8日(月)	リーダー技法・プログラムの計画立案	54人	

② 地域回想法フォローアップ研修会開催

地域回想法を実施した結果、疑問に感じた点・課題と思った点を解決し、H25年度展開できるよう計画立案へのアドバイスを得るため開催。

内 容		参加者	参加者内訳
H25年 3月23日	講義(回想法の計画立案・展開について)、地域・施設での回想法の取り組み報告	53人	在宅介護支援センター職員、介護保険サービス事業所(グループホーム、デイサービス等)の職員、居宅介護支援センター職員等

③ 一次予防事業対象者（※2）への地域回想法

ア) 在宅介護支援センターによる地域回想法

在宅介護支援センターが、4地区（白銀、市川、小中野、長者）の一次予防事業対象者28人に対し、2ヶ月間（週1回、計8回）実施。毎週「遊びのおもいで」「お手伝いのおもいで」「おやつのおもいで」等様々なテーマに沿って、参加者が過去のことを思い巡らし、語りあう。

※2 一次予防事業対象者：65歳以上の元気な高齢者

イ) 介護予防教室でのおためし回想法

在宅介護支援センターが開催する介護予防教室内で、回想法を体験する機会としておためし回想法を実施する。「遊びのおもいで」、「小学校の思い出」等をテーマに14回実施し、214人が参加する。

④ 二次予防事業対象者への地域回想法

二次予防事業委託事業所が社会福祉法人同伸会に講師依頼して実施する。

週1回 8日間（2か月）で1クール・・・6人参加

（4）平成24年度 月別要支援認定者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	387	394	407	397	392	403	426	442	446	466	472	482	5,114
要支援2	805	815	834	827	818	828	856	877	902	897	900	919	10,278
計	1,192	1,209	1,241	1,224	1,210	1,231	1,282	1,319	1,348	1,363	1,372	1,401	15,392

（5）介護予防支援 給付管理数（年間件数）

	21年度	22年度	23年度	24年度
委託事業所	6,404件	7,305件	6,936件	7,070件
包括支援センター	4,363件	3,707件	4,119件	4,345件
合計	10,767件	11,012件	11,055件	11,415件

## 4 その他

（1）地域包括支援センター職員打ち合わせ会（年4回）

地域支援事業推進のための情報交換、意見交換及び課題の検討を行う。

内容：地域支援事業推進（介護予防教室、見守りネットワーク、二次予防事業、生活介護支援サポーター等）に向けたグループワーク、困難ケース事例検討等

出席者：地域包括支援センター職員、12在宅介護支援センター職員

(2) キャラバン・メイトの支援及び認知症サポーター養成講座

①キャラバン・メイトの支援

ア)キャラバン・メイトスキルアップ研修の開催

- ・開催日時：平成 25 年 2 月 17 日（日）
- ・講師：藤田神経内科病院 院長 藤田祐之氏  
江東区福祉部 高齢者支援課 認知症支援担当 係長 酒井 由紀子氏
- ・目的：認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、効果的な認知症サポーター養成講座開催に向けて知識の普及を行い、キャラバン・メイト同士の連携を深めることを目的とする。
- ・出席者：八戸市内キャラバンメイト 24 名

イ)ボランティア保険の加入

- ・認知症サポーター養成講座開催時の事故等に備えるため、八戸市内のキャラバン・メイトに対し、社会福祉協議会で実施しているボランティア保険に加入する。
- ・加入者：八戸市内キャラバンメイト 55 名
- ・補償期間：平成 24 年 6 月 7 日～平成 25 年 3 月 31 日

②認知症サポーター養成数

○平成 23 年度までの認知症サポーター養成数実績

	18・19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	合計
講座開催数	15 回	26 回	42 回	54 回	38 回	32 回	207 回
サポーター数	691 人	995 人	1,394 人	1,987 人	1,663 人	1,209 人	7,939 人
キャラバンメイト 従事者数(延)	22 人	36 人	106 人	127 人	87 人	81 人	459 人

※平成 25 年度末までの認知症サポーター養成目標数：10,000 人（目標達成率：79.4%）

○平成 24 年度 認知症サポーター内訳

	一般住民	職域	学校	合計
サポーター数	549 人	407 人	253 人	1,209 人
割合	45.4%	33.7%	20.9%	100%

※平成 24 年度の特徴

- ・キャラバン・メイトが自主的に講座を企画し、開催した講座は全体の約 53%である。
- ・職域では、スーパーマーケット、銀行、病院、施設等での講座開催、他に市職員、市議会議員対象に講座を開催した。
- ・小学校では旭ヶ丘小 5 年生、中学校では白銀中学校で開催した。  
他に八戸工業大学第二高等学校、社会福祉専門学校、八戸高等看護学院等でも開催した。

(3) 認知症フォーラム

認知症の正しい理解と、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの重要性を意識づける機会のほか、認知症に関わる各種団体が連携を図る重要性を知る機会として開催する。

日時：9月2日（日）10：00～16：00

場所：八戸市公会堂文化ホール及び八戸市公民館各会議室

実施主体：八戸市、八戸市医師会、認知症の人と家族の会青森県支部、ファイザー株式会社  
エーザイ株式会社

来所総数：308人

・午前の部：講演 「認知症とお金のはなし～あなたの老後の生活・財産を守るには～」

講師 公益社団法人あい権利擁護支援ネット 代表理事 池田 恵利子氏

聴講者：230名

・午後の部：消費者トラブル寸劇「気をつけて！こんなトラブル1・2・3」

講師 青森県消費生活センター八戸相談室 主任相談員 坂本 久美子氏

出演 ボランティアグループ“あいの手”

講演 「知ってあんしん認知症～症状と治療について～」

講師 協立クリニック 認知症外来 大畑 美齡氏

聴講者：190人

講演、消費者トラブル寸劇のほか、認知症に関する情報や、家族の会活動紹介コーナー、医療や介護の相談コーナーを設置した。

(4) グループホーム運営推進会議出席

24年4月～25年3月 9箇所・18回のグループホーム運営推進会議へ出席する。

(5) 地域包括支援センター運営協議会

第1回	7月11日	(1)平成23年度地域包括支援センター事業報告について (2)平成24年度地域包括支援センター事業計画について (3)地域包括支援センターの人員体制について
-----	-------	--

(6) 定住自立圏八戸市あんしんカード事業

八戸市内に住むおおよそ65歳以上で、認知症等により徘徊して自宅に帰ることができなくなるおそれがある方の早期保護を目指す。

概要：徘徊して自宅に帰ることができなくなるおそれがある高齢者の情報を、事前に八戸市に登録。登録者には登録番号を載せたカードを交付し、登録情報は八戸警察署に提供。平成24年度からは八戸圏域定住自立圏の事業となり、八戸市を含む周辺8市町村で実施している。

八戸市登録者数：138人（平成25年3月31日現在）

平成24年度の実績

問い合わせ数	7件 ※警察2件・在介1件・居宅3件・住民1件
カード登録者	5名 ※問い合わせのうち登録されていた人数

平成24年度 高齢者保健福祉サービスに関する啓発活動

	開催月日 時 間 場 所	テ-マ	方法	参加対象者	人数	従事者
1	24年4月10日(火) 18:00~20:00 野月会館フリースクエアノヅキ	○八戸市における高齢者の孤立死	講義	小中野・柏崎・江陽地区民生委員児童委員	62	長谷川
2	24年6月6日(水) 10:00~10:50 田面木公民館	○田面木地区周辺の介護保険施設を知る	講義	田面木老人クラブ会員・それに準じるもの	42	中居
3	24年7月5日(木) 13:10~14:40 八戸高等看護学院 2学年教室	○高齢者の自立した生活を支援する地域保健活動の実際	講座	八戸市立 高等看護学院 2学年	43	十文字
4	24年9月6日(木)  白銀公民館	○高齢者福祉の現状について	講義	浜通り(湊・白銀・鮫・南浜)地区の高齢者	46	十文字
5	24年9月17日(月)  長者公民館	○地域包括支援センター・在宅介護支援センターについて ○二次予防事業対象者把握事業の長者地区の結果について ○八戸市での介護予防の取り組みについて	講義	長者地区の75歳以上の 高齢者	194	十文字
6	24年8月22日(水) 15:30~17:00 妙光園 会議室	○認知症サポーター養成講座	講座	妙光園 法人職員	29	三浦
7	24年10月23日(火) 13:30~14:30 八戸地域職業訓練センター	○高齢者福祉サービスのご案内 ○高齢者のあんしん相談機関としての地域包括支援センター・在宅介護支援センター	講座	介護養成研修2級過程受講生	17	嶋森 中居
8	24年10月20日(土) 9:00~13:00 田面木公民館	○田面木まごころネットワーク(徘徊 sos 模擬訓練) 講評	訓練参加 講評	田面木地区住民 こころすこやか財団	59	中居
9	24年11月8日(木) 10:00~12:00 八戸市身体障害者更生館	○介護予防について(口腔ケア)	講義	八戸市ろうあ協会お 試しデイサービス「か ぶしま」	24	佐々木
10	24年11月9日(金) 10:00~12:00 八戸総合福祉会館	○介護保険制度と八戸市地域包括支援センターの役割	講義	鷗盟大学生	80	中居
11	24年10月30日(火) 13:00~15:30 ウエディングプラザアラスカ 地 階 サファイア	○高齢者虐待防止及び権利擁護研修会 パネルディスカッション 「イネイプリングが引き起こす虐待」	パネリスト	市町村・地域包括支 援センター・在宅介護 支援センター・介護事 業所	61	島田
12	24年11月21日(水) 13:30~16:00 市庁別館 2階会議室 B・C	○介護支援専門員等研修会 後見申立てケースの紹介	講義	介護支援専門員等	97	島田
13	24年11月30日(金) 9:30~12:00 ホテル青森 3階 善知鳥の間	○地域包括支援センター職員研修 情報交換 医療と介護の連携強化に係わる地域包括 支援センターの役割	コーディネ- ター 事例提供者	地域包括支援センタ ー職員	66	長谷川 中坂
14	24年11月30日(金) 11:40~12:20 身体障害者更生館	○高齢化による心得と認知症予防	講義	身体障害者更生館利 用者の身体障害者お 茶愛好会	29	中居



	開催月日 時 間 場 所	テーマ	方法	参加対象者	人数	従事者
15	25年1月24日(木) 9:30~11:30 はちふくプラザねじょう 2階多目的ホール	○介護支援専門員実務研修 「地域包括センターの概要」	講義	介護支援専門員	135	長谷川
16	25年2月15日(金) 9:30~17:00 ホテル青森 3階 孔雀の間	○青森県介護予防従事者研修会	講義	指導者研修受講者の 一部	191	長谷川
17	25年2月21日(木) 10:30~11:30 根城公民館	○見守りネットワーク地域包括支援センタ ーの取り組みについて	講義	根城地区社協役員・ 民生員・ほのぼの交 流員・保健推進員	61	村本
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
計	17回				1,236人	

在宅介護支援センター推進事業 実績比較(平成 23 年度、平成 24 年度)

在宅介護支援センター名	年度	総合相談(件)	実態把握(人)					介護予防プラン作成(件)	介護予防教室(回)	ボランティア育成・活用(回)		見守りネットワーク(回)		その他 民生委員 定例会等 (回)
			二次予防事業対象者リスト		リスト以外	一次予防事業 対象者	計			育成	活用	地域	個人	
			訪問	拒否										
寿楽荘	23	996	23	0	22	170	215	205	56	2	39	5	0	51
	24	1,008	2	0	42	141	185	185	54	4	29	14	0	49
たえみ	23	738	33	0	30	186	249	248	37	2	28	7	1	25
	24	511	51	0	41	149	241	241	35	1	25	6	1	28
みやぎ	23	820	76	0	49	121	246	246	35	0	7	0	0	15
	24	821	126	0	61	65	252	252	36	0	8	0	0	20
ちょうじゃの森	23	1,082	57	2	63	120	242	240	25	1	24	0	3	20
	24	1,099	62	0	66	112	240	240	24	2	25	0	1	23
医師会	23	1,274	6	0	125	109	240	242	32	5	27	3	0	27
	24	1,113	38	0	127	79	244	260	28	1	33	0	1	28
アクティブ24	23	760	74	0	139	93	306	306	43	2	26	5	0	25
	24	722	120	1	79	47	247	246	43	1	28	4	0	20
福寿草	23	755	29	0	69	150	248	248	63	0	29	11	0	35
	24	748	18	1	87	145	251	250	59	0	28	11	0	35
八戸グリーンハイツ	23	2,156	13	1	339	191	544	543	17	2	14	2	0	6
	24	2,233	172	0	377	36	585	585	21	0	17	2	0	2
はくじゅ	23	629	17	0	91	133	241	241	30	0	24	0	0	41
	24	706	81	0	106	115	302	302	28	2	25	0	0	15
修光園	23	800	3	0	109	44	156	156	28	1	8	0	0	39
	24	1,363	64	0	67	192	323	323	31	1	47	1	0	23
瑞光園	23	2,226	40	0	105	675	820	820	24	0	24	11	0	8
	24	1,730	170	0	128	414	712	712	25	4	16	10	0	8
なんろく	23	494	1	0	116	123	240	240	11	0	0	0	0	8
	24	442	48	2	66	126	242	240	11	0	0	0	0	11
計	23	12,730	372	3	1,257	2,115	3,747	3,735	401	15	250	44	4	300
	24	12,496	952	4	1,247	1,621	3,824	3,836	395	16	281	48	3	262

※23 年度においての実態把握の訪問・拒否の件数は、リストによらないもの（在介独自の把握及び生活機能評価により把握）

## 平成 24 年度 在宅介護支援センター推進事業に関する自己評価

在介名/担当地区	内容
福寿草 担当: 大館・東	<p>○介護予防の出前講座・見守りネットワーク情報交換会の回数が、増加した。</p> <p>○民生委員をはじめとして、地域からの相談も多く、一つ一つより丁寧な対応したため、信頼関係を深める事ができた。</p>
寿楽荘 担当: 市川・根岸	<p>○訪問や実態把握は、民生委員からの情報や訪問依頼を優先し、速やかな対応を心掛けた。しかし、キーパーソンが不在、家族が精神障がいを抱えているなど、複数回の訪問を要するケースが、ここ数年増加傾向にあり、実績数が伸び悩んだ。</p> <p>○電話相談、来所相談が増加している。また、民生委員と定期的に行っている地域の高齢者についての情報交換の件数も増えている。</p> <p>○介護申請の提出代行業務が、年間20件を超え、申請のための病院受診、状態把握など複数回の訪問を要するケースも多かった。</p> <p>○介護予防教室は、内容の充実を考え、その地域に合った教室を行うことができた。</p> <p>○見守りネットワークは、新しく立ち上げることができた。次年度は、その継続と、連合町内会を対象に地域性のある、活動しやすいネットワークをテーマに立ち上げていきたい。</p>
修光園 担当: 是川・中居林	<p>○4月から配属になり、実態把握では、情報を整理するまで時間を費やしたが、4月、5月に多く訪問したため、目標数を達成することができた。</p> <p>○見守りネットワークの立上げはできなかったが、現在交渉中の地区とは、今後も継続的に話し合っていきたい。</p>
はくじゅ 担当: 上長・下長	<p>○二次予防事業につながるケースが多くあった。</p> <p>○民生委員からのケース紹介や地区行事への参加など、地域から声をかけていただいた。新たに介護予防教室を開催できた町内もあり、年々連携が深まっていると感じる。</p> <p>○今後も地域住民が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるよう、民生委員や老人クラブ等と連携・協力を図りながら活動していきたい。</p>
アクティブ24 担当: 江陽・小中野	<p>○総合相談・実態把握では、民生委員からの相談が多く寄せられ、連携して対応した。見守りが必要な高齢者には、定期的に訪問することにより、心身状況を把握し、必要な福祉サービスを調整した。</p> <p>○見守りネットワークは新規の立ち上げはできなかったが、既存の5町内のうち2町内については協議会に継続参加し、支援した。</p> <p>○ボランティア活用・育成では、江陽地区で認知症サポーター養成講座を開催した。介護予防教室で、ボランティアサークル、民生委員、地域住民等のボランティアを活用した。</p> <p>○民生委員児童委員定例会には毎回出席し、情報交換や相談の場として活用することができた。また、地域の避難・防災・救護訓練に参加した。地域住民と共に防災対策について学び、日頃の訓練の必要性を確認した。今後も、地域関係者と連携し、高齢者の防災意識向上が図れるように努めたい。</p> <p>○地域回想法は、一次予防高齢者を対象に、認知症予防と地域活動の仲間作りを目的に小中野地区で開催した。評価結果の数字には、はっきりと効果は表れなかったが、参加者の感想を通して、脳活性化を図ることができ、介護予防に取り組む必要性を理解していただけたと感じた。</p>
ちょうじゃの森 担当: 長者・白山台	<p>○実態把握と介護予防プランの作成については、二次予防事業の訪問を中心に、リスクの高い高齢者を優先して訪問を行った。</p> <p>○介護予防教室とボランティア育成・活用については、民生委員や地域住民と相談し、地域のニーズに沿った内容で実施している。参加人数が少ないことがあったため、実施する会場の選定について見直す必要がある。</p> <p>○見守りネットワークの立上げについては、うまく進んでいない。以前から話を進めていた町内では、立上げに慎重になる声が多く、新規の立ち上げができそうな町内も今のところ目星がつかっていない。</p>

<p><b>瑞光園</b> 担当: 白銀南・鮫・南浜</p>	<p>○年々65歳未満の方の相談が増えてきている。その中で、健康増進課や地域の保健推進委員の方から協力いただき対応する事ができた。 ○今年度は、クレームもあり、訪問での見える態度、電話での見えない態度に考慮しながら、対応していくことが大切であると感じた。</p>
<p><b>たえみ</b> 担当: 田面木・館・豊崎</p>	<p>○実態把握については、民生委員や老人クラブ役員、ほのぼの交流協力員等の地域との情報共有に勤め、見守りや訪問につなげることができた。 ○介護予防教室は、民生委員、地区社協等と連携し、定期的に行うことができる地区を増やすことができた。内容については、認知症予防と筋力アップに重点を置き、参加者が、自宅に帰った後も、楽しんで取り組めることを考えて実施している。また低栄養予防や口腔機能向上についても実施したところ、好評が得られ、今後もバリエーションを増やして欲しいとの要望もいただいた。 ○高齢者見守りネットワークは、新規の立ち上げはできなかったものの、既存の2町内で定期的に会議を開催し、情報交換を継続している。 ○ボランティアの活用については、田面木地区で認知症サポーター養成講座を開催した。また、徘徊模擬訓練を実施し、小学生にも参加してもらった。 ○年々、介護申請の提出代行の依頼が増えており、今後も増加することが予想されるため、介護予防の呼びかけもしていく必要がある。</p>
<p><b>みやぎ</b> 担当: 三八城・根城</p>	<p>○職員の異動があったため、地区の特性を把握するとともに、民生委員定例会、介護予防教室や地域の行事を通して、在介の活動を周知していくことに努めた。 ○実態把握については、根城地区の二次予防事業対象者の訪問に偏ってしまい、両地区の独居高齢者やハイリスク高齢者の定期訪問を十分に行うことができなかった。 ○介護予防教室については、根城地区は、前年度に引き続き、民生委員の協力を得ながら、地域への周知を行うことができた。三八城地区は、みやぎ会広報の配布、ほっとサロンやにこにこ教室に参加するなど、地区の行事に参加する機会も多く、様々な場面で周知活動を行うことができ、介護予防教室の参加者増加につなげることができた。</p>
<p><b>八戸グリーンハイツ</b> 担当: 湊・白銀</p>	<p>○認知症問題やアルコール問題などの困難ケースに対応した。地域包括支援センターや民生委員など、各関係機関との連携がうまくいき、医療や介護サービスにつなげることができた。 ○今後も、孤独死の問題が課題として考えられる。その防止策の一つに、見守りネットワークの構築がある。今年度は、立ち上げ説明まで行った町内は、2ヶ所あり、来年度から本格的に活動していく。 ○介護予防教室も地域の実情や高齢者が、把握できる機会である。町内で確立されている所は継続し、普及されていない所は、開拓していかなければならない。普段から地域とのつながりを大切にしていくことが重要であり、それが介護予防や孤立死防止などに結びつくものとする。</p>
<p><b>八戸市医師会</b> 担当: 柏崎・吹上</p>	<p>○柏崎地区が、二次予防事業の対象であったため、実態把握の件数が増加した。教室への見学同行から事業参加への一連の対応や、中間と終了時の評価ほうもん、更に包括、事業所との連絡調整もあり、訪問回数も増加している。今後は、健康意識の高い方だけではなく、潜在的に介護予防が必要な方への支援をいかに進めていくかが課題である。 ○担当地区で、孤独死が発見されたため、見守りネットワークの重要性を再認識する結果となった。しかし、民生委員定例会等でも、情報交換は行うものの、見守りネットワークに対する理解が得られない。独居高齢者や高齢者世帯で、身内が遠方にいる方や、キーパーソンがいない方が増える中で、どのように近隣住民の理解を得て、進めていけるかが、今後の大きな課題である。 ○様々な研修に参加して、研鑽を積み、相談員としてのスキルアップを目指したい。地域の相談機関として、今の見守り連絡体制を随時見直ししながら、地域力を高める一助となれるよう、今後も事業を推進していきたい。</p>
<p><b>なんろく</b> 担当: 南郷区</p>	<p>○9月から、二次予防対象者リストが届き、独居、老々世帯を中心に実態把握するように心掛けた。初めて訪問する方が多く、今後は見守りの意味もかねて継続して訪問していきたい。まだ独居、老々世帯の実態把握を終了できていないので、近隣や民生委員からも確認と取りながら、現状の把握に努めたい。 ○民生委員から気にかかるケース、心配なケースが相談されることが多くなってきた。訪問したら、その結果を民生委員に報告して応えていきたい。</p>

(2)

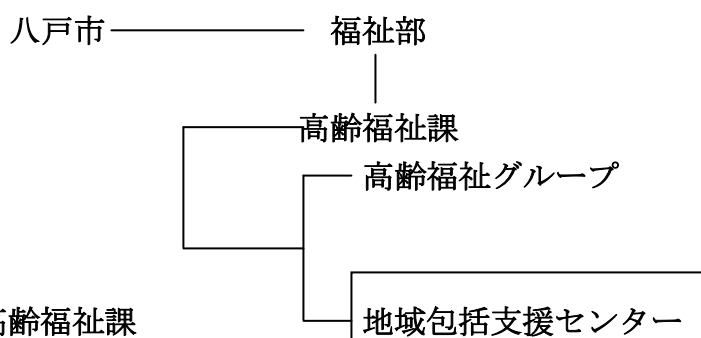
平成25年度 地域包括支援センター事業計画

# 平成 25 年度八戸市地域包括支援センター体制

## 1 設置概要

1) 設置 : 八戸市 1 箇所

2) 施設設備 : 配置 : 福祉部 高齢福祉課 地域包括支援センター



3) 事務室 : 高齢福祉課

4) 相談室 : 市庁別館 1 階 地域包括支援センター相談室  
地域包括支援センター分室

24 時間体制 : ① 高齢福祉課 緊急初動体制に基づき対応する。

② 協力機関の在宅介護支援センター (12 箇所) が 24 時間体制をとっている。

## 2 職員配置状況

職 種	常 勤	非常勤	合 計
保健師	6		6
主任介護支援専門員	1		1
社会福祉士	3		3
看護師		1	1
社会福祉主事		1	1
介護支援専門員	1	10	11
事務	1	1	2
合 計	12	13	25

※ (有) ひかり介護支援事業所に高齢者虐待及び精神保健福祉問題等対応支援業務を委託している

平成25年度八戸市地域包括支援センター 業務分担

事業計画	業務内容	主担	副担当			
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括支援センターの総括</li> <li>○センターの予算に関すること</li> <li>○議会に関すること</li> <li>○各関係機関との連携及び調整に関すること</li> <li>○青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会に関すること</li> <li>○講師派遣依頼への対応に関すること</li> <li>○各種外部会議への対応に関すること</li> <li>○老人ホーム入所判定会議に関すること</li> <li>○実習生の受け入れに関すること</li> <li>○指定介護予防支援事業の統括</li> <li>○非常勤在宅介護指導員に関すること</li> <li>○東日本大震災被災者支援に関すること</li> <li>○地域ケア会議に関すること</li> <li>○第6期八戸市高齢者福祉計画に関すること</li> </ul>	中居 裕子	夏堀 愛子 山村 由希子			
センター運営	○地域包括支援センター運営協議会に関すること	久保 美帆	夏堀 愛子 山村由紀子			
	○指定介護予防支援（予防給付）事業に関すること	村本 順子	久保 美帆			
	○業務実績集計	蛭名 葵	万谷 さおり			
ブランチ在介に関すること	総合相談、介護予防、介護予防ケアマネジメント	○在宅介護支援センター推進事業に関すること	三浦 志津枝	中坂 和裕 佐々木 美咲		
	総合相談	○見守りネットワーク構築に関すること	山村 由希子	村本 順子 万谷 さおり		
		○生活介護支援サポーターに関すること	山村 由希子	十文字 崇子		
介護予防ケアマネジメント	ケアマネジメント、介護予防	○二次予防事業に関すること〔ケアプラン、通所・訪問型介護予防事業〕	十文字 崇子	三浦 志津枝 山村 由希子		
		○二次予防事業対象者把握事業に関する事務	万谷 さおり	佐々木 美咲		
介護予防普及啓発	介護予防、総合相談	○介護予防事業普及啓発（民児協対応含む）に関すること	十文字 崇子	山村 由希子		
	介護予防	○地域回想法に関すること	三浦 志津枝	佐々木 美咲 山村 由希子		
	任意	○認知症サポーターの養成に関すること	万谷 さおり	三浦 志津枝		
○認知症フォーラムに関すること		佐々木 美咲	三浦 志津枝			
包括的・継続的ケアマネジメント	任意	○包括的支援事業研修会に関すること	佐々木 美咲	中坂 和裕		
		○医療と介護の連携意見交換会に関すること	中坂 和裕	村本 順子 三浦 志津枝		
		○ケアマネジメント事例学習会	村本 順子	中坂 和裕		
		○ケアプラン作成指導者研修会	村本 順子			
		○地域ケア会議（地域ケア個別会議）	中坂 和裕	島田 巧巳 山村由紀子 万谷 さおり		
総合相談支援	権利擁護	○成年後見制度に関すること（市民後見人に関すること）	夏堀 愛子	島田 巧巳 蛭名、工藤		
		○成年後見制度に関すること（市長申立てに関すること）	島田 拓巳	夏堀 愛子 蛭名 葵		
		○成年後見制度に関すること（相談）	夏堀 愛子	島田 巧巳 蛭名 葵		
		○高齢者虐待等相談報告に関すること	島田 拓巳	蛭名 葵		
		○高齢者虐待防止対策ケース会議に関すること	島田 拓巳	夏堀 愛子 蛭名、工藤		
		○高齢者虐待防止研修会に関すること	島田 拓巳	夏堀 愛子 蛭名 葵		
		○虐待事例検討会に関すること	島田 拓巳	蛭名 葵 村本 順子		
	任意	○徘徊高齢者 あんしんカード事業	蛭名 葵	夏堀 愛子		
定住自立圏事業	包括的・継続的マネジメント	○（定住） 合同研修会	村本 順子	中坂 和裕		
		○（定住） 徘徊高齢者あんしんカード事業	蛭名 葵	夏堀 愛子		
事務		○文書の保管・保存に関すること	久保 美帆	大野 朋子		
		○予算に関すること（地域支援事業）				
		○各種契約事務				
		○地域包括支援センター運営協議会関係事務				
		○地域包括支援センターシステム管理				
		○第6期八戸市高齢者福祉計画に関すること				
		○車両に関すること			久保 美帆	中坂 和裕
		○ネットワーク連絡員			島田 拓巳	中坂 和裕
		○通所形介護予防事業（運動機能向上、口腔機能向上、総合型介護予防、栄養改善、認知症予防）			三浦 志津枝	十文字 崇子
		○指定介護予防支援（契約・予防給付・給付管理）事務			久保 美帆	村本 順子
○広報ディレクター	佐々木 美咲	三浦 志津枝				
○ISO&うみねこプランに関すること	山村 由希子	十文字 崇子				
○生活支援ハウス、頸松館に関する事務	中坂 和裕	島田 拓巳				



八戸市地域包括支援センター		総括	中居 裕子	連絡先: TEL43-2111 (内線263・396・360・380・ 588・395)		
チーム	地域包括支援センター		在宅介護支援センター	担当地区		
A チ ー ム	◎ 十文字 崇子(保)  佐々木 美咲(保)  村本 順子(介)	高橋 文香(看・介)  平葎 優貴子(看)  佐々木 範子(看・介)  助川 幸子(看・介)	寿 楽 荘 川井 智子  TEL 52-8000	市川  根岸		
			福 寿 草 瀧音 慎  TEL 25-0100	大館  東		
			瑞 光 園 佐々木 瞳 佐々木 神治  TEL 25-7558	南浜  鮫  白銀南		
			修 光 園 木村 順悦  TEL 96-6507	中居林  是川		
			◎ 夏堀 愛子(社)  山村 由希子(保)  中坂 和裕(介)  蛭名 葵(社)	中里 和江(看・介)  澤頭 ひろみ(看・介)  中村 優子(歯・介)  工藤 真結美(社・精・介)	八戸市医師会 深沢 江梨子  TEL 71-2251	柏崎  吹上
					た え み 山口 亜矢子  TEL 22-4760	田面木  館  豊崎
					ちょうじゃの森 中村 新悟  TEL 46-3775	長者  白山台
なんろく 市沢 光子  TEL 82-3855	南郷					
C チ ー ム	◎ 三浦 志津枝(保)  島田 拓巳(社)  万谷 さおり(保)	関川 由美子(介・介)  尾坪 美恵子(介・介)  吉田 久美子(介・介)  山田 万輝(社主)	アクティブ24 滝本 尚子 吉田 由美子  TEL 45-3000	小中野  江陽		
			みやぎ 杉下 由紀恵  TEL 71-2271	三八城  根城		
			はくじゅ 松井 淳平  TEL 20-4400	下長  上長		
			グリーンハイツ 清水 友康 吉田 郁子  TEL 31-0521	湊  白銀		
			全体事務	久保 美帆(主査) 岩澤 睦子(パート)		



# 平成25年度 八戸市包括支援センター事業計画

## 1. 目的

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

## 2. 目標

- (1) 高齢者が安心安全に暮らせる環境づくりに努める
- (2) 介護予防の普及啓発を図る
- (3) 増加する認知症者の対策を図る
- (4) 高齢者の権利擁護に努める

## 3. 基本機能

- (1) 共通的支援基盤構築
- (2) 総合相談支援・権利擁護
- (3) 包括的・継続的マネジメント
- (4) 介護予防ケアマネジメント

## 4. 事業実施計画

### (1) 共通的支援基盤事業

- ① 地域包括支援ネットワークの構築
- ② 地域包括支援センター運営協議会 年1回
- ③ 地域住民に対する広報 パンフレット作成
- ④ 地区民生委員・児童委員定例会での包括支援センター説明 25地区中9地区

### (2) 総合相談支援業務

- ① 在宅介護支援センター推進事業(実態把握) 年2880件(委託)
- ② 総合相談
- ③ 高齢者見守りネットワーク連絡会の設置
- ④ 新聞・郵便配達等とのネットワーク構築
- ⑤ 見守りネットワーク研修会
- ⑥ 高齢者生活支援サポーター養成 2在宅介護支援センター担当地区

- ⑦ 地域包括支援センター関係職員打ち合わせ会 年 4 回
- (3) 権利擁護業務**
  - ① 虐待への対応 (随時)
  - ② 高齢者あんしん相談窓口での相談 (随時)
  - ③ 高齢者虐待対策ケース会議 年 4 回
  - ④ 虐待ケア会議 (随時)
  - ⑤ 高齢者虐待防止出前講座
  - ⑥ 高齢者虐待防止研修会 年 1 回
  - ⑦ 成年後見制度の活用
  - ⑧ 市民後見推進事業
- (4) 包括的・継続的マネジメント**
  - ① 包括的・継続的なケア体制の構築
  - ② 医療と介護の連携意見交換会 年 2 回
  - ③ 地域におけるケアマネジャーのネットワーク構築
  - ④ 包括的支援事業研修会 年 3 回
  - ⑤ 地域ケアマネジャー事例検討会開催支援 年 2 回
  - ⑥ ケアプラン作成指導研修会 年 1 回
  - ⑦ ケアプラン点検支援マニュアル実践研修(定住自立圏) 年 1 回
- (5) 介護予防マネジメント業務**
  - ① 要介護のおそれのある高齢者(二次予防事業対象者)の介護予防ケアプラン作成
  - ② 予防給付に関するケアプラン作成
    - a. 要支援 1・2 の介護予防マネジメント 1,000 件以上
- (6) 介護予防事業**
  - ① 二次予防事業
    - a. 通所型介護予防事業
    - b. 訪問型介護予防事業
  - ② 一時予防事業
    - a. 介護予防の普及啓発
      - ・在宅介護支援センター推進事業(介護予防普及啓発)
      - ・地区老人クラブ連合会会員等の介護予防教室
      - ・二次予防事業対象者把握事業における介護予防普及啓発
  - ③ 地域介護予防活動支援事業
    - a. 地域回想法実践報告会
    - b. 地域回想法

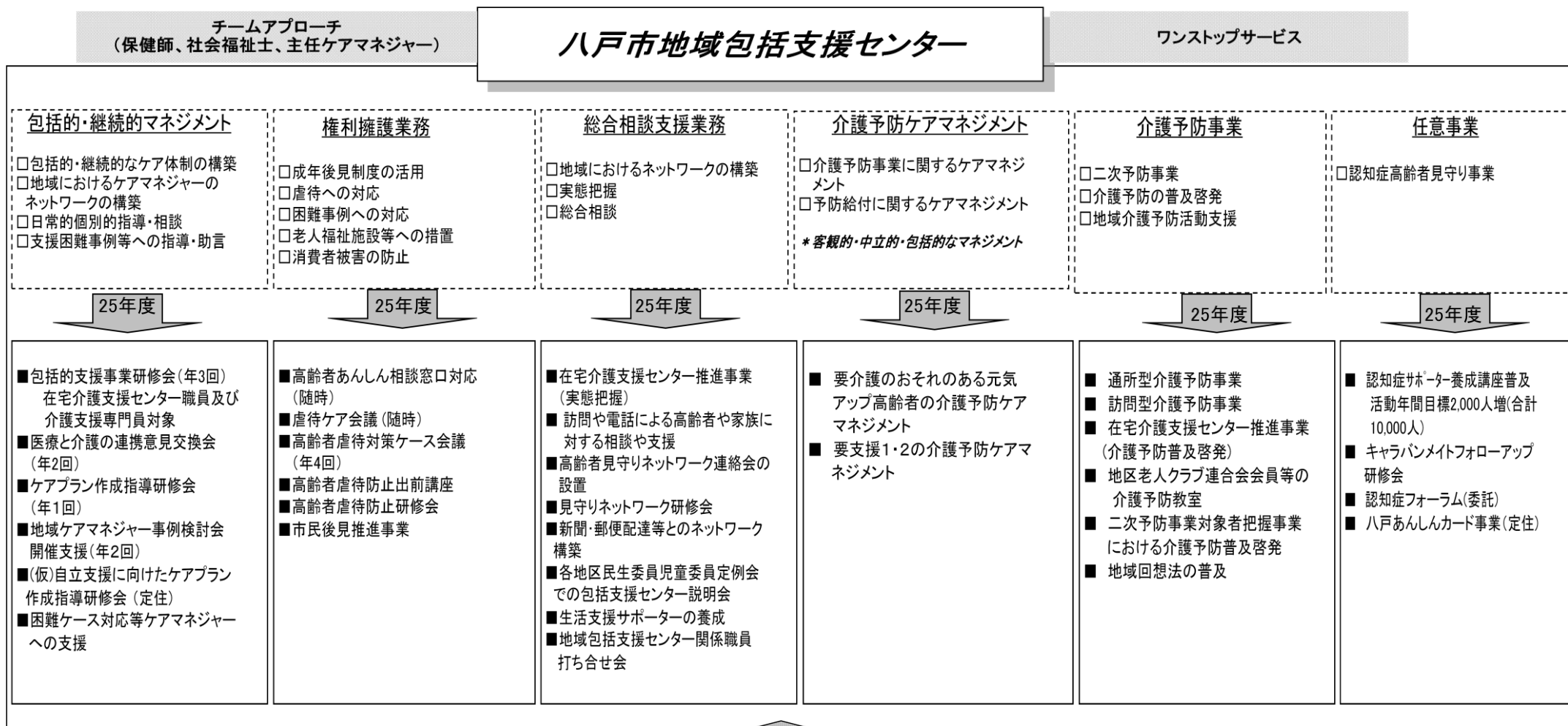
**(7) 任意事業**

- ① 認知症高齢者見守り事業
  - a) 認知症サポーター養成講座普及事務局
  - b) キャラバンメイトフォローアップ研修会開催 年 1 回
  - c) 認知症フォーラム
  - d) 八戸市あんしんカード事業（定住自立圏）

**(8) その他**

- ① 地域密着型サービス運営推進会議参加 年 40 回

# 平成 25 年度八戸市地域包括支援センター事業計画



**12在宅介護支援センター(日常生活圏域に1か所)**

【委託業務】

□ 総合相談	□ 実態把握	□ 介護予防プラン作成	□ 介護予防教室	□ 高齢者見守りネットワーク推進	□ ボランティア育成・活用	□ 地域回想法
(2880件/年)	(2765件/年)	(270回/年)	( 町内/年)	(275回/年)	( 地区/年)	( 地区/年)

※年間回数及び件数は目標値